

ユネスコエコパークとは

正式名称: Biosphere Reserves (生物圏保存地域) ※略称: BR

ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的として、1976年にユネスコが開始した事業です。

「世界自然遺産」が手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは自然と人間社会の共生が目的となっています。

登録総数は136カ国の759地域(うち国内は10地域)にわたります。
(2024年7月現在)

3つの機能と地域

保存機能 (生物多様性の保全)

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域であること。

学術的 研究支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

経済と 社会の発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取組が行われていること。

それぞれの機能は独立のものではなく、
ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。
この3つの機能を果たすために3つの地域を設定しています。

核心理域

自然環境を厳格に保護しなければならない地域

緩衝地域

核心理域と移行地域の間のクッションとして、人間活動から核心理域を保護するための地域

移行地域

人が暮らしを営み、環境に配慮した産業活動など持続可能な発展を目指す地域



〈お問い合わせ〉

祖母・傾・大崩
ユネスコエコパーク推進協議会



ホームページ



インスタグラム

大分県事務局 大分県自然保護推進室
宮崎県事務局 宮崎県中山間・地域政策課

TEL: 097-506-3025
TEL: 0985-26-7035

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク

尖峰と溪谷が育む森と水、いのちの営みを次世代へ
～自然への畏敬をこめて～

大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾・大崩山系とその周辺地域は、独特な景観美を有する特有の地形地質によって、多様かつ貴重な生態系が発達しています。

この豊かな自然を人々が敬い、守り、その恵みを上手に活用してきた共生の歩みが評価され、2017年6月に「ユネスコエコパーク」に登録されました。



こんな動物・植物がいるよ



ニホンモモンガ



キレンゲショウマ



ソボサンショウウオ



ブナの巨木



ウラクロシジミ



ツクシアケボノツツジ

ニホンカモシカのために
私たちができること



ニホンカモシカ Book



祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク
Sobo, Katamuki and Okue Biosphere Reserve

このリーフレットはニホンカモシカの保全を目的として作成されました。